

環境施設の見学記

つくば学園都市の一面に位置する国立環境研究所と手賀川に沿って設置された手賀沼終末処理場を平成22年9月30日に22名で見学しました。

国立環境研究所

この研究所は1974年に設立。大気汚染や水質汚濁など地域的な環境問題から地球温暖化問題まで、最新施設と幅広い専門知識を備えたわが国唯一の環境専門研究施設です。

今回は、地球温暖化に的を絞って見学しました。地球温暖化研究の概要説明では、1万年前から現在までの気温計測データが示すとおり、最近、気温が急上昇しており、温室効果ガスであるCO₂の低減対策は急務であるとのことでした。

次に見学した最終処分プラント実験室では、埋め立てられた廃棄物の長期的な変化を科学的に解明し、安全性を評価する装置についての解説と、低公害車実験室での自動車環境負荷評価法についての説明を受けました。

手賀沼終末処理場

この処理場は1981年から稼働し、現在は柏市、我孫子市など7市の汚水を毎日1億9千万リットル処理しています。処理法は、沈砂と微生物汚泥による曝気流水方式で、清水にしたものを消毒して川に流しています。

処理場からの要望として、汚水を餌としている微生物は油類を流すと死滅するので、油類は拭き取ってから洗流してほしいとのことでした。 **環境部 中山 紀之**

健康講座

サプリメントと薬の併用

健康ブームといわれ、サプリメントが人気ですが、あなたは服用していますか？ 薬局には多種多様な商品が並び、選ぶのに迷ったことはありませんか。そんな時に頼りになるのが薬剤師さん。

平成22年10月22日、この地域で薬剤師をしておられる大塚昌孝先生に、サプリメントについての講演をお願いしました。

サプリメントは医薬品ではなく食品に分類されます。食事で不足気味のビタミンやミネラルなどを飲んでいる方が多いようですが、安全とはいえない物もあります。

また、普段服用している薬との飲みあわせで、薬の作用が強くなってしまふ場合もありますので、医師や薬剤師の助言を受けるようにとのこと。そのためにも、日ごろ

服用している薬が記入されている「お薬手帳」を持つことを先生は勧められています。

まずはバランスのとれた食事をし、身体を動かし、そのうえで不足しがちな栄養素は補助食品で補うようにしたいものです。

健康づくり推進員副ブロック長 張替 節子

訪問販売に毅然と一言「お断りします」

相変わらず減らない悪質訪問販売。屋根・外壁・床下点検などを勧められ、ついつい言葉巧なセールストークに聞き入ってしまった。そんな経験はありませんか。

平成22年11月25日、増尾近隣センターで開催された消費者講座では、そんな時の対処の仕方を消費者センターの相談員さんに教えていただきました。

最近多い太陽光パネル設置はメーカーに問い合わせ、商品を理解する。地デジ対策のアンテナ工事は、環境により設置方法など違うため、総務省の委託事業「デジサポ」に相談し、戸別訪問などで自分の家に合った方法を知る。このように商品を理解したうえで、契約するように心がけたいものです。

また「訪問販売」を、契約解除したいときは、契約日から8日までに、必要事項を書いたはがきを契約事業者宛てに投函するとクーリングオフができます。今年からは食品もクーリングオフができるようになりました。

身の回りで起きる「悪質商法」を防ぐには新しい情報を知ることが大切です。国民生活センターまたは消費者庁のホームページで新情報をキャッチ。訪問販売があったらあいまいに返事をせず毅然と行ってください。

ハッキリ「お断りします」そして「いません」と。

消費生活コーディネーター 嶋田由紀江

催し物のお知らせ

◎ 幼児向けおはなし会

図書館増尾分館では、毎月第1水曜日の午前10時30分から幼児を対象に「おはなし会」を開催しています。

場 所 増尾近隣センター 1階会議室B

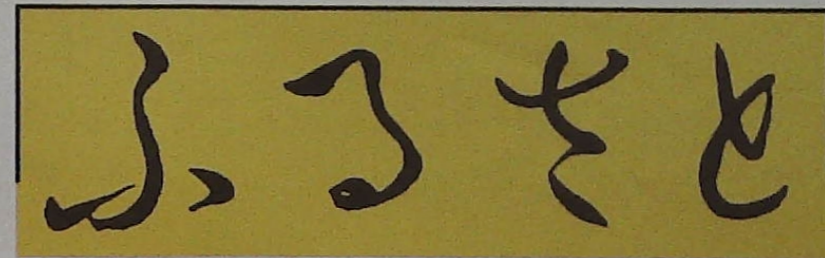
◎ ふれあいセミナーますお

増尾近隣センター生涯学習事業「ふれあいセミナーますお」が開催されます。

開 催 日 平成23年2月1日から毎週火曜日（最終回は木曜日）の全5回です。

申し込み法 1月18日から増尾近隣センターへ電話か直接。

(詳細は市広報「かしわ」1月15日号をご覧ください)



吉田 稔 筆

みんな元気 住んで良かった この地域

平成23年1月 No.96

● 編集・発行
柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211



新しい時代への鐘音

コミュニティ助成事業で パソコンなど購入

増尾地域ふるさと協議会では、自治総合センターからのコミュニティ助成事業の交付金により、備品を購入して増尾近隣センター内に設置しました。町会、自治会の会議や研修会などのコミュニティ活動にご活用ください。なお、使用申し込みなどについては事務局にお問い合わせください。

創立30周年を迎え さらなる前進を



会長 幸喜 源松

明けましておめでとうございます。今年の干支は卯です。卯年は草木が枯れ、新たな世代が生まれようとする年と言われています。

私たちの増尾地域ふるさと協議会も今年で創立30周年を迎えます。これを機に、新たな歩みを始めなければなりません。

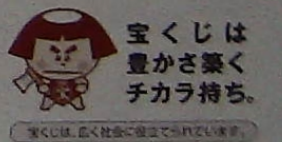
少子高齢化の波は町会や自治会の運営にも影響を及ぼし、町会役員の後継者や福祉関係における要援護者に対応した支援者の不足など難題が山積し、その解決策に苦慮しているのが現状です。町会、自治会とふるさと協議会が一体となって解決に当たらなければと痛感しております。

昨年は、敬老のつどい、文化祭、地域ふれあいのつどいなど地域に密着した活動を計画的に展開し、高い評価をいただきました。

今年は、ふるさと協議会創立30周年記念行事をはじめとする種々の活動で、地域住民の皆さんのご期待にお応えできるよう、役員一同取り組む所存です。いっそうのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

自治総合センターは、宝くじ普及広報事業として受け入れる受託事業収入を財源として、コミュニティ活動を助成し、健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報事業を行っている団体です。

購入備品は①ビデオプロジェクター一式 ②パソコン ③プリンター ④ワイヤレスアンブリー一式 ⑤会議用テーブル ⑥屋外用テント一式 ⑦デジタルカメラです。



宝くじは、広く社会に還元されています。

人・人・人……ふれあいの輪が広がって

スポーツ・レクリエーション大会

柏市レクリエーション協会の協力を得て、平成22年11月21日増尾近隣センター体育室で開かれました。

昨年は、新型インフルエンザの流行で中止となったこの大会も、今年是一般参加47名、柏レイソルダンサーズ、スタッフほか総勢117名と、元気いっぱいでの大会でした。

午前の個人競技は何度も挑戦できるとあって好記録続出。新しく取り入れた“スポーツ吹矢”は長さ1メートル超の吹矢で7メートル先の的を射て得点を競う競技。珍しさも手伝って、再挑戦、再々挑戦とたいへんな人気でした。

午後は1チーム11名編成の団体対抗競技。レイソルダンサーズの敵味方なしの黄色い声援で室内は熱気に包まれ大盛り上がり。

表彰式では、個人、団体の上位3位に賞品が手渡され、ほどよい運動で上気した笑顔が。

文化体育部 高萩 郁勇



レイソルダンサーズの登場で一段と高まる熱気

ふるさと協議会の行事のさまざまな場面で子どもたちの姿が多く見られるようになったとお感じになりませんか。

学校と地区社協が協力して“地域全体で福祉の心を育てよう”という取り組みが2年目に入りました。

今年度はゴミゼロ運動に始まり、敬老のつどい、地域ふれあいのつどい、グラウンドゴルフ大会など積極的に小・中・高校に呼びかけ、多数の参加を得ることができました。

敬老のつどい

平成22年9月19日 土中体育館 参加者423名
ゆったりとした会場で懐かしいメロディーを堪能



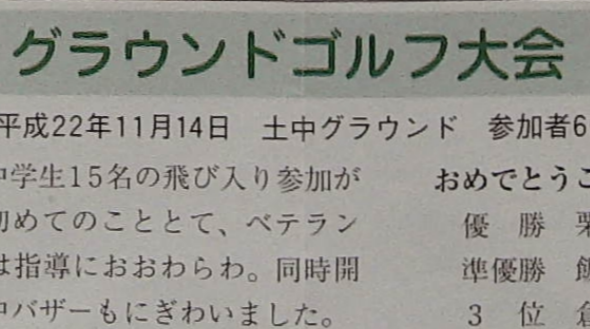
気を付けてこちらへど
うぞ。中学生が案内を

大熱演。土中吹奏楽部の
心のこもった演奏でした

ゆっくりと伸びを
している気持ち!!

文化祭

平成22年11月6～7日 近隣センター体育室
各世代のいろいろな作品が結集



グラウンドゴルフ大会

平成22年11月14日 土中グラウンド 参加者66名

小・中学生15名の飛び入り参加があり、初めてのことで、ベテランの方々は指導におおわらわ。同時開催の土中バザーにもぎわいました。

敬老のつどいでは、土中学校吹奏楽部の部員たちが、会場の案内をしてくれたり、グラウンドゴルフ大会では、ベテランの方々が小・中学生をやさしく指導したり、自分の飲み物を小学生に譲ったりする姿も見受けられました。

このような自然発生的な小さなふれあいの輪が、これからもいろいろな行事で、どんどん広がるのではと期待しています。

地区社協部 吉尾 薫子

地域ふれあいのつどい

平成22年11月6日 近隣センター駐車場
おもち、赤飯、おでん、焼きそば計2200食完売



ハイ、名代焼きそばの出来
上がり!! 自慢の腕を振る
います。毎年、超人気

ヤッター、高得
点だ!! ゲーム
コーナー大繁盛

優雅な香り。新設のア
ロマテラピーコーナー

健康教室

「足を肩幅に開くのが基本姿勢です。隣の人と押し合ってみてください」そんな先生の呼びかけに、隣の人と肩を押し合う。なるほど押されてもよめくことはありません。

平成22年10月3日9時半より、川喜多揺宇子先生を講師に『太極拳教室』が行われ、21名の参加者とともに受講しました。私は太極拳を体験するのは初めてで、たいへん興味深く、また、楽しく体を動かすことができました。

そして午後1時半からは恒例となっている石原由紀子先生の『ヨガ教室』。

「体のいつも使っていない方を動かして」という先生の声に従い、床に敷いたバスタオルの上で体をねじりながら腕を上げてみる。終わると体が温かく感じられ爽快そのものでした。

いずれの教室も問い合わせが予想以上にたくさんでした。新しい趣味のきっかけ作りとなればと思います。

文化体育部 山本 達将



アラふしぎ。体ほかほか、気分爽快(ヨガ教室)

先生のおっしゃるとおり。押され
てもよめくません(太極拳教室)